開倫塾ニュース 2022 年 11 月号巻頭言原稿	2022年9月5日(月)

受験勉強のスタートは、受験前学年(高2、中2、小5)の秋からがベスト

―高 2、中 2、小 5 の秋から受験勉強をスタートさせよう―

開倫塾
塾長　林　明夫

Q：受験勉強はいつからスタートしたらよいとお考えですか。

A：(1)受験学年の高 3・中 3・小 6 は時間がありませんから、「自分は受験生であると自覚」した日、つまり、受験勉強をしなければと気が付いたその日からスタートすべきと考えます。

(2)受験勉強にとって不可欠なのは、「自分は受験生である」という「受験生としての自覚」です。いくら入学試験の日が迫ってきても、「受験生としての自覚」がないと、なかなか受験勉強はスタートできないからです。

(3)受験学年の皆様は、「受験生としての自覚」をもった日が受験勉強をスタートする日です。

(4)一番よいのは、入学試験の 1 年前学年の秋ごろから、「受験生としての自覚」を少しずつでももって受験勉強をスタートすることです。

Q：エッ、受験 1 年前学年、つまり、高2・中2・小5の秋ごろから受験勉強をスタートしたほうがよいのですか。

A：(1)その通りです。

(2)医学部や東大、東工大、慶大、早大などの難関大学・学部に進学を目指す人は、中高一貫の私立学校や学習塾で中学 1 年生から 6 年間かけて準備しています。

(3)準備は早ければ早いほうがよい。受験 1 年前学年の高 2・中 2・小 5 から、1 年半近くかけて本格的な受験勉強をすることをおすすめします。

Q：なぜですか。

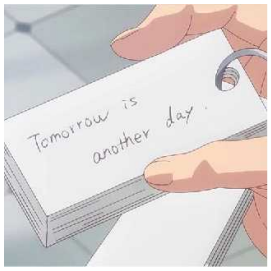
A：(1)大学入試は高校の全学習範囲、高校入試は中学校の全学習範囲、私立中学校・公立中高一貫校入試は小学校の全学習範囲から出題されます。

(2)それぞれの入試では、教科書レベルの内容を「理解」し「定着」させ、問題練習を繰り返せば解けるような「定型的な問題」に加え、見慣れない複雑な「非定型的な問題」が大量に出題されます。

(3)決まりきった「定型的な問題」と同時に、見慣れない複雑な「非定型的な問題」を解くには、出題パターンを覚え、ただ大事なところを暗記すればよいという 1 年間の小手先の受験勉強では間に合わない、時間が足りないということです。

Q：では、１年半かけて何をどう学べばよいのですか。

A：(１)出題される全教科は、まんべんなく予習・復習・定着・応用を繰り返して「完全に身に着ける」ことが第1。



(２)①大学入試では「総合型選抜(旧 AO 入試)」「学校推薦型入試」で 60％以上が進学する学校も多いので、学校の定期試験に高 1 から高 3 の 1 学期まできちんと準備して臨み、全教科 100 点満点を目指すべきです。

②高校入試でも都立高の推薦入試、県立高の特色選抜で 3 割の合格者を出す学校が多いので、全 9 教科の準備を十分に行い中 1・中 2・中 3 の定期試験で 100 点満点を目指すべきです。

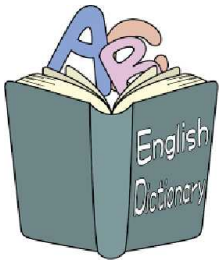
③このように、「大学受験」「高校受験」にとって学校の定期試験で全教科 100 点満点を取ることは、大学入試、高校入試と同じです。こう考えて、受験 1 年半前から受験生として真剣に定期試験に臨むべきです。

(３)①偏差値 55 以上の難関大学や、偏差値 55 以上の難関高校を受験するのであれば、少なくとも高 3 の 1 学期末までに高校の全範囲、中 3 の 1 学期末までに中学校の全範囲の学習を終了。

②夏休みに総復習第 1 回目をした上で、9 月からは大学共通テスト(大学センター試験)の過去問を毎週 1 年分ずつ全問解き、徹底研究。11 月中旬からは、大学独自問題 10 年分を毎週 1 年分ずつ解き、徹底研究。1 月最終週までに終了させ、2 月・3 月の大学独自入試に臨むべきです。

③このためには、高 2 の秋から「受験生としての自覚」をもって本格的に机に向かう以外ありません。

④難関高校入試の受験生、私立中高一貫校・公立中高一貫校入試の受験生も同じです。中 2・小 5 の秋から「受験生としての自覚」をもち、早めに中学校・小学校の学習範囲を終了させ、「過去問 10 年分」や「北海道から沖縄までの翌年度の入試問題」をすべて解くなどして、応用力を育てることが大事です。

Q：最後に一言どうぞ。

A：大学入試、高校入試、私立中・公立中高一貫校入試問題は、近年特に全教科とも長文化し、問題文を正確に、分析的に読んで考えさせる出題が大半を占めるようになりました。今後は、複雑で正解がない「非定型的な問題」が多数出題されると考えられます。そこで大切なのが、日頃から「読解力」を養うために「辞書」「新聞」「読書」に親しみ、学習時間の中に含ませて「学習習慣」とすることです。「辞書」と「昨日の新聞」、「辞書」と「新書か文庫本 1 冊」は、「読解力」の「三種の神器」「武士の刀」です。カバンの中にいつも入れて、時間のあるときにはさっと取り出して「読解力」の育成に努めてくださいね。